

ビデオ・DVD教材リスト

【人権全般】

番号	分類	作品名	内容
		時間・対象・制作年	
4	人権全般	私たちと人権－家庭編－	ドラマと解説の二部構成。家庭、家族を中心に日常のさまざまな差別問題（出身地、職、性、家柄など）を考え、同和問題へのアプローチをする。
		26分 一般 1989年	
5	人権全般	私たちと人権－職場編－	職場に焦点をあて、私たちの意識やものの考え方について、いろいろな角度から問題を提起していく。職場の一人一人がお互いの立場を尊重し、人権意識を高めていくことは、明るく楽しい職場づくりにつながっていく。そのためにはどのようなことをすればよいかを、みんなで一緒に考えようとするもの。
		29分 一般 1990年	
6	人権全般	私たちと人権－課題編－	社会には、部落差別をはじめ女性や障がい者・外国人などに対するさまざまな差別がある。これらの問題を解決するために、自分をはじめ多くの人々が深くかかわっていることを自覚し、自分自身の人権意識を問い直し、自ら考え、生き方を変え、行動する必要を訴える。
		30分 一般 1993年	
20	人権全般 (アニメ)	クレヨンの星	広い宇宙のかなたにクレヨンたちが住んでいる星があった。ある日、金の星の王子コインがやってきて「クレヨンの星で一番偉い人に会いたい」と言った。偉いという価値観がなかったこの星で、コインは「混じりけのないものが一番偉い」と言ったため、仲の良かったクレヨンたちの間に争いが起こってしまう。大人と子どもが一緒に見て、子どもたちが感じたことを大人が受けとめ、大人が考えたことを子どもたちに伝え、話し合いをするきっかけになる作品。
		14分 幼児・小学生・一般 1991年	
21	人権全般 (アニメ)	きつねのかんちがい	誤って井戸に落ちた子ぎつねを、殺されたと勘違いしたきつねたちが村人の田を荒らす。一人の若者が怒った村人をいさめ、きつねの誤解を解いていく。日常よくある「勘違い」や「思い込み」、「決め付け」などが、相手を傷つけてしまっていることを指摘し、合理的、科学的なものの見方、考え方を身につけ、自分の意見をはっきり主張することの大切さを訴えている。
		28分 幼児・小学生 1989年	
30	人権全般	鏡に映った私－自分自身を見つめ直して－	親や親戚、世間などから学習していく文化や価値観の中に、偏見や差別意識が含まれていることが分からなければ、私たちは知らず知らずのうちに誤ったことを学習していたということになる。学習した偏見や差別意識を改めるには、もう一度人権という視点から見つめ直す必要があるのではないだろうか。
		18分 一般 1996年	
32	人権全般	国際人権を知っていますか －国連と市民のとりくみ－	このビデオは、国際人権を市民のものにするために、国連と市民の取り組みを、次の項目にしたがって編集したもの。1. 国連と人権 2. 人権宣言とその発展 3. 国連の人権機関 4. 人権差別撤廃条約 5. 反アパルトヘイト 6. 女性の人権 7. 難民の人権 8. 子どもの人権 9. 国連とNGO 10. 国連の人権活動 11. 国連人権高等弁務官 12. 国際人権と私たち
		24分 中学生以上 1997年	
41	人権全般 (アニメ)	蛍の舞う街で	寺内さんと小林さんという2つの家族の交流を中心に物語を展開し、私たちが日常生活の中でごく当たり前のこと、常識だと思っていることの中にもさまざまな人権問題が潜んでいることやお互いを尊重していくための自立と共生、家族のきずな、地域社会の連帯などの問題を投げかけている。
		42分 中学生以上 1997年	

44	人権全般	私たちと人権 -赤ちゃんのささやき-	「会って」・「ホンネとタテマエ」・「ともに生きる」の3話で構成。根拠のない風習や慣習にとらわれたり、ホンネとタテマエを使いわけていては、真に人権の守られる社会をつくることはできない。一人一人が人権意識を身につけ、みんなと楽しく幸せに生きていける社会の実現をめざす。
		31分 一般 1997年	
47	人権全般 (アニメ)	にじいろのふしぎないし	やさしさと勇気をくれる「にじいろのふしぎないし」を求め、魔法の待つ洞窟へ子どもたちの冒険が始まった。はたして「にじいろのふしぎないし」を手に入れることはできるのか？この作品は、動物の世界を舞台に、子どもたちが生活の中で言葉や行為が相手を傷つけることや、一人よりも友達と一緒に遊ぶことの楽しさなどに気づき、「相手の立場を考え、思いやる気持ち」を育むことをねらいとしている。
		15分 幼児以上 1996年	
50	人権全般	NEEDSとWANTS 必要なものと欲しいもの	阪神大震災を教訓に、生きていくうえで必要不可欠なものが「人権」と深く結びついていることを、研究者と市民との会話形式で展開している。20枚のカードを例に出し、「必要なもの」と「欲しいもの」とに分け、具体的に解説が進められている。
		20分 一般 1996年	
51	人権全般	何気なく	日常何気なく使っている言葉の意味を改めて考えさせられる。「・・・らしく」「世間体」「やっぱり」などの言葉を使う時の心の動き、考えを探り、人間の心の奥底にある偏見や差別心を改めて問い直す。三部構成でロールプレイ形式で展開されており、分かりやすい。
		20分 一般 1995年	
52	人権全般	心ひらくとき	あすかは入社7年目の新聞記者。同じ新聞社に勤める夫は、炊事から洗濯まで家の中のことを何でもやってくれる。人権って何だろう・・・。あすかは、人権を「人が幸せになる権利」という視点から、人権問題の取材を進めるうちに、改めて日常の中に見え隠れする差別や偏見に気づいていく。人権を身近なものとして感じるきっかけとなるように、いろいろな人権を描いている。
		55分 一般 1998年	
53	人権全般	楽しく学び合うワークショップ	参加型学習の手法について解説。1.ワークショップの基本 2.実践をはじめる前に 3.ワークショップの展開 4.ファシリテーターの役割 5.ワークショップの手法
		44分 一般 1999年	
61	人権全般 (アニメ)	どんぐり森へ	虫をいじめていたわんぱく少年が、どんぐり森で体験する不思議な出来事を通して、どんな生き物にも命があり、それはたった一つしかなく、失うと二度とは戻ってこない大切なものであることを学んでいく姿を描いている。
		15分 幼児・小学生低学年 1998年	
64	人権全般	なくしたいもの大切にしたいもの	まず第一に誰もが差別意識を持っているかもしれない。自分が差別意識を持ったものとして、それを変えていこう、自分を変えていこうという気持ちになること。これが出発点。自分を変えていく。違いを認める。改めなければならない言葉が意外に多いことに気づくでしょう。
		20分 一般 1999年	
68	人権全般	人権ってなあに第1巻 あなたへのメッセージ	一言で「人権」と言ってもその内容は実に多種多様。人種、民族、女性、子どもなど。そんな言葉では捉えにくい「人権」を各界で活躍されている5人の人たちが、実際の体験から分かりやすく語るメッセージ集。
		41分 中学生以上 1999年	
75	人権全般	ワークショップは技より心	最近の人権啓発活動や研修では、体験的参加型の手法として、ワークショップが注目されている。このビデオでは、道具の一つ一つ、そしてプログラムの時間配分や進行上の工夫などに至るまで、大事な「心」の込め方について具体的な例を紹介。
		26分 一般 1999年	

76	人権全般	自分の立場、相手の立場	職場や学校、地域などで行われる人権問題の学習や研修の材料として、私たちの身近なところで起こりうる3つのストーリー（同和問題、女性に対する差別、障がいのある人の人権）を紹介。立場を替えて考えてみようとする手法もとっている。
		15分 一般 1999年	
77	人権全般	雲が晴れた日	祖母の介護の問題に直面したある家族が、高齢者、女性、障がい者、外国人、同和地区住民だからといった差別をしていたことに気づき、それを克服して助け合っていくとするまでの物語。人と人が助け合うということは、お互いの人権を尊重してこそ成り立つもの。それを中学生の主人公の目を通して描き、共生と人権という問題を身近なものとしてとらえられる作品。
		53分 中学生以上 1999年	
78	人権全般 (アニメ)	みんなのもり	みんなの森に力の強いオオカミがやってきて、乱暴を始めた。森の住人のあなたなら、どうする？人間の人格の骨組みがつくられる小学生低学年向けの人権教育映画。大事な時期の児童の人権感覚の育成に役立て、また中学生や成人にとっても、考えながら楽しく鑑賞できる教材。
		16分 小学生以上 1989年	
81	人権全般	心のメガネ曇ってませんか？	日常生活の中にみられるいくつかの事例を紹介して、思い込みや偏見がどうして形成されていくのか、どうすればそれをなくせるのかを考える。
		20分 一般 2000年	
85	人権全般 (アニメ)	源吉じいさんと子ぎつね	一人暮らしのおじいさんと、柿の実が食べたいばかりにその孫に化けた子ぎつね。二人の出会いと別れを、美しい秋の山村を舞台に描くアニメーション。楽しさと情感あふれる世界を通して、子どもたちに人を思いやる温かな心を育ててほしい作品。
		18分 幼児以上 2001年	
86	人権全般 (アニメ)	おじいちゃんのトマト	一人の少年のまわりで起こるさまざまな人権問題（高齢者、いじめ、不登校、命の尊厳など）をめぐる、少年やその家族、周囲の人たちが悩み苦しんでいく。しかし、体の不自由な祖父の生きることへの情熱や考え方に触れ、命の尊さや相手の気持ちを思いやる優しさに気づき始める。
		39分 小学生以上 1996年	
95	人権全般 (アニメ)	夢、空高く	自治会でされるたこ揚げ大会の準備に多くの人がかかわっていく中で、親や子どもの自立の問題、共生し協働することの意義などについて投げかけている。また、被差別の立場にある人の生き方を通して、「人それぞれが自分らしく生きる」とはどういうことかを考える作品。
		41分 中学生以上 2000年	
96	人権全般	私自身を見てください	第1部はドラマ構成による問題提起。広報課に配属された新入社員が社内広報ビデオ「人物図鑑」を担当する。取材対象は、総務部管理課に所属する人権担当の加藤さん。加藤さん取材するために、社内を捜すがなかなか見つからない。その中で、性別、職業、地位、年齢、血液型、体型、外国人、被差別部落などによるさまざまな固定観念・ステレオタイプに出会う。第2部はCGと資料を使った解説。
		27分 一般 2001年	
102	人権全般	もう一人の私 個人情報の保護	現代社会では、私たちの個人情報は、行政機関だけではなく民間企業や団体などのいたるところに蓄積されている。コンピューター技術の進歩にともない、それらの情報が一瞬にして大量に外部へ流出して深刻な人権侵害を引き起こす危険性をはらんでいる。現代社会においてますます重要性を帯びてきたプライバシーの権利、個人情報保護の問題を、ドラマと解説の2部構成で提起。
		27分 一般 2002年	

109	人権全般	絵のある町	最近母を病気で亡くした孫が自分に心を閉ざしてしまったことに心を痛めていた主人公が、その打開に公園の壁に近所の人々で“絵”を描くことにする。メンバーの外国人の子の絵が塗りつぶされるといふ事件が起こった。これを契機に外国人・同和問題についてさまざまな本音が飛び交うようになっていく。
		54分 一般 2002年	
111	人権全般	それってちがうんじゃない? ハテナ <sup>2</sup>	箕面市で暮らすさまざまな人々の幸せを求める姿やメッセージを『人権とは何か』という問いかけをテーマにつづっている。
		28分 小学生以上 2000年	
114	人権全般 (アニメ)	陽だまりの家	「共に生きる」とは何か。母子家庭の奈々恵と娘の千鶴、一人暮らしの老女、秀子。個性の違いを認め合い、互いに尊重しながら、寄り添うとき、人々に陽だまりのような温かさが生まれる。
		42分 中学生以上 2002年	
117	人権全般	「私」のない私～同調と傍観～	両親の言いつけを守り、まじめに働く主人公は、周囲で起こるさまざまな事件の前で、「おかしい」と思いながらも、上司ににらまれることを恐れて「俺には関係のないこと」と流れに身を任せてしまう。人権侵害に気づいているのに行動できない私。行動化を妨げている同調と傍観について、ドラマと解説部の2部構成で問題提起。人権研修やワークショップでの活用に最適な、新しいタイプの教材。
		30分 高校生以上 2003年	
122	人権全般	マイ・プロジェクト 「栗原 恵の提案」 「二宮 敏之の決断」	「栗原 恵の提案」30分 職場でのいじめ、セクシュアル・ハラスメント、応募者の公正な採用選考、個人情報の取扱いをめぐる恵は、さまざまな人権問題にぶつかり、解決に向け歩み始める。 「二宮 敏之の決断」30分 企業の同和問題、男女共同参画問題やインターネットを悪用した人権侵害に対する取り組みが、営業所一人一人に広がっていく。
		60分 一般 2003年	
126	人権全般	息子	東京の居酒屋でアルバイトをしている哲夫は、母の一周忌で帰った故郷の岩手でその不安定な生活を父の昭男に非難される。その後、哲夫は下町の鉄工所で働くようになる。その取引先で征子という美しい女性に好意を持つが、彼女は聴覚に障がいがあることを知り、衝撃を受ける。上京してきた父は哲夫の様子を見て安心する。そんな父に哲夫は征子を紹介し結婚したいと告げる。父親と息子との葛藤と心の変化を描いた社会派ドラマ。
		121分 高校生以上 1991年	
133	人権全般	いつもこころにほほえみを	「さっちゃんとなっちゃん」「のらみこミーシャ」「せかいのやくそく」の3本で構成。“暮らしの中の小さなドラマ”に見える人権に加え、ありふれた出来事の中にも確かにある、生きる喜びへの「気づき」を再発見してもらえたら・・・そんな思いを込めながら、人として生き合うことの大切さを大人と子どもが話し合えるようやさしく描いた作品。
		24分 幼児以上 2004年	
136	人権全般	人権に向き合うための6つの素材 <sup>エピソード</sup>	どこにでもありそうな家族の会話をミニドラマで再現し、私たちの身の回りにいつでも起こりうる人権問題を提示する。問題の背景や立場の異なる人々の思いをドキュメンタリーやインタビューで伝え、人権とは何かを考える。
		27分 一般 2003年	
137	人権全般	走れ! 夢をのせて —障害者はどこへも行くな言うんか!—	現在の若者を主人公に、主人公たちがバリアフリーのまちづくりを目指し、人権問題の解決、共生の地域社会の実現に向けて仲間と共に行動。さまざまな人と関わることを通して、「学び・行動し、行動しながら考えて、自らが変わっていく」姿を描いている。
		45分 中学生以上 2003年	

146	人権全般	人権感覚のアンテナって？	人権啓発担当者に配属された、化粧品会社勤務の深津理絵。人権について考えていくにつれ、かつて「セクハラされる深津にも問題がある」という周囲の言葉に傷ついた体験を振り返る。やがて、関心を持って考えなければ人権侵害・差別はなかなか見えてこないという社会の無関心という落とし穴に気づいていく。
		39分 一般 2006年	
148	人権全般 ・女性	ワーク・ライフ・バランス ～働きがいのある職場と生き生きした暮らし～	ワーク・ライフ・バランス。それは、多様化する生活スタイルや働き方に対する新たな取り組み。充実した暮らしとは何か。働くことへのモチベーションを高めていくためには。仕事と生活の調和を図るためにワーク・ライフ・バランスを推進する、組織や個人の取り組みを紹介する。
		27分 一般 2007年	
153	人権全般	<b>DVD</b> 夕映えのみち	もし、わが子がインターネットを使って他の人の人権を侵したら、逆にわが子がその被害者になり『いじめ』にあつたら、あるいは学校や地域で同じ事件が起きたなら・・・。「あなたなら、どうしますか？」と、問いかける作品。また、この問題はインターネットを利用しない人々にとっても、無縁ではない。地域や家庭内での「無責任なうわさ話」や「根強い偏見」が元になり、インターネットによる人権侵害へとつながっていくことがある。インターネット社会で、私たちは「どう生きるか」「人とどう関わるか」「社会とどうつながるか」を考え、「相手を思いやる」ことの大切さを見つめ直す作品。
		38分 一般 2006年	
154	人権全般	<b>DVD</b> 人権を行動する	3つのケースを設定して、行動するかしらないかの分岐点を提示する。その時、自分なりにどのように行動できるか、できないか、そしてその理由を考える中で人権をいかに行動につなげていくかを考えていく。
		25分 一般 2007年	
158	人権全般	<b>DVD</b> 親愛なる、あなたへ	主人公・小野寺弘務は、定年退職を目前にして妻・陽子が脳梗塞で急死し、途方にくれてしまう。そんな時、近所の人たちに陽子が地域のボランティアをしていた話を聞き、弘務は自分が地域での陽子の様子をほとんど知っていなかったことを痛感する・・・。現在、核家族化が進行し、地域社会における人々の結びつきが弱まっている。互いに無関心・無理解であることにより、様々な人権問題が起きている。地域に関わる全ての人が、同じ社会の構成員として、よりよい暮らしづくりを实践する地域社会を創造していくための作品。
		37分 一般 2008年	
160	人権全般	<b>DVD</b> 職場の人権	社員相談室・新人相談員の佐藤が、様々な職場で起こるトラブルや悩みに遭遇することによって、“相手の気持ち”を考えるとどのようなことなのかを理解していく過程をドラマ仕立てで描く。 この作品は、一連のドラマの中に6つのテーマを内包している。 職場で起こり得るパワハラやセクハラ、コミュニケーション不足が原因のトラブルを描くことで、そこにある意識のズレと問題点を提示していく。
		27分 一般 2008年	
161	人権全般	<b>DVD</b> 日常の人権 I 一気づきから行動へー 女性の人権 子どもの人権 高齢者の人権	日常生活の中に潜むさまざまな人権問題。人々の心にある偏見をドラマで描き、また差別や偏見に苦しむ人々の心の痛みをドキュメンタリーで伝える。人権についてさまざまな角度から考えることができる教材。
		23分 一般 2009年	

162	人権全般	<b>DVD</b> 日常の人権Ⅱ 一気づきから行動へー 外国人の人権 障がい者の人権 部落差別 インターネットでの人権侵害	日常生活の中に潜むさまざまな人権問題。人々の心にある偏見をドラマで描き、また差別や偏見に苦しむ人々の心の痛みをドキュメンタリーで伝える。人権についてさまざまな角度から考えることができる教材。
		23分 一般 2009年	
163	人権全般	<b>DVD</b> 事例で考えるパワハラ解決法  事例1 歩くパワハラ上司 事例2 誤解とわだかまり 事例3 自己意識過剰な部下	パワハラにならない部下指導を知ること、そしてパワハラ等が起きた場合に迅速かつ適切に対応することのどちらも、組織を保つために不可欠な事柄。この教材では事例を通じて、どのような言動がなぜパワハラになるのか、もしパワハラが起きたらどのように対応すればよいのかを、分かりやすく解説している。
		25分 一般 2009年	
166	人権全般	<b>DVD</b> こころの病と向きあう	うつ病や統合失調症などの心の病に対する偏見は、患者や家族を社会から阻害し、また、偏見によって適切な治療ができないためにさらに病気が悪化する場合もある。 心の病に罹患した人々や、周囲の人々の日常をドキュメントし、心の病に対する偏見について問い直し、心の病と人権について考えていくための教材。
		25分 一般 2012年	
167	人権全般	<b>DVD</b> ほんとの空	高齢者や外国人に対する排除、不利益な扱い、同和問題や原発事故に伴う風評被害の問題、これら多くの人権課題に共通する根っここの部分は、私たちの誤った考え方や思い込み、偏見という「意識」である。 誤解や偏見に気づき人と深く向き合うこと、他者の気持ちを我がこととして思うこと、すべての人権課題を自分に関わることとして捉え、日常の行動につなげてもらうための作品。
		36分 一般 2012年	
171	人権全般	<b>DVD</b> imagination 想う つながる 一歩ふみ出す	あるラジオ番組のオンエアから3つのエピソード①いじめ問題「いじめをなくすのはアナタ」②同和問題「関わらないのが一番それ本当？」③発達障害「見えにくいから知ってほしい、発達障害のこと」をドラマと解説者として織りなす、心温まるワンナイトストーリー。
		34分 一般 2013年	
172	人権全般	<b>DVD</b> 桃香の自由帳	地域の人たちと触れ合っていく小学2年生の桃香と、娘を見守る両親の姿を描きながら、ともすれば見失いがちな、人と人との寄り添い、共に生きる温かな世界とは何かについて語りかけています。
		36分 一般 2011年	
173	人権全般	<b>DVD</b> 未来を拓く5つの扉 ～全国中学生人権作文コンテスト入賞作品朗読集～	全国中学生作文コンテストで入賞した作品の中から5編の作文を朗読して、アニメーションやイラストで紹介。中学生が作文の中でつぶやいている言葉にあなたも耳を傾けてみてください。それが、きっと新しい明日への一歩につながっていくことでしょう。
		46分 中学生以上～一般 2014年	

174	人権全般	<b>DVD</b> あなたがあなたらしく生きるために ～性的マイノリティと人権～	あ	レズビアン・ゲイ・トランスジェンダー・バイセクシュアルという性的マイノリティを表した言葉について、ドラマ模様で分かりやすく解説している。特に人権の視点から分かりやすいように性的マイノリティ理解の入門編として製作されている。
		30分 中学生以上～一般 2015年		
178	人権全般	<b>DVD</b> クリームパン		派遣切りにあい失業中の青年が、様々な人との交流を通して「いのちのきずな」に気づいていくドラマ。児童虐待の問題もとりいれながら、互いの人権を尊重することが、生きることの素晴らしさにつながることを訴える作品。
		36分 一般 2010年		
182	人権全般	<b>DVD</b> インターネットと人権 加害者にも被害者にもならないために		インターネット上の人権やプライバシーの侵害につながる行為は後を絶たず、近年特にネットいじめや子どもたちをターゲットとした犯罪が大きな社会問題となっている。また、インターネットに関する知識や意識が十分でない中学生や高校生は、被害者になるだけではなく、意図せず加害者にもなることも少なくない。本DVDは、主に中学生やその保護者、教職員を対象に、インターネットを利用する上での危険性や、安全な利用法・対策について、高校生を主人公としたドラマと解説でわかりやすくまとめた作品。
		30分 中学生～一般 2016年		
185	人権全般	<b>DVD</b> 企業と人権 職場からつくる人権尊重社会		「ハラスメント」「LGBT」「障害」「外国人」「えせ同和行為」をテーマとし、企業向けに実施する研修会等で活用しやすいように、ショートドラマや企業の取組事例紹介、解説を交えた作品。
		40分 一般 2017年		
187	人権全般	<b>DVD</b> わたしらしくあなたらしく 多様な性 を生きる		多様な性が存在することに対する無知や無関心によって生じる差別や偏見。それが根強く残るいまの社会で、性的マイノリティの人にとって、本当の自分をカミングアウトすることは容易ではありません。悩みながらも自分らしく生きようとする性的マイノリティの人たちの姿を通して、多様な性が共に生きる社会はどうあるべきかを考える作品。
		38分 一般 2018年		
189	人権全般	<b>DVD</b> 人権アーカイブ・シリーズ ①ハンセン病問題～過去からの証言、未来への提言～ ②家族で考えるハンセン病		配偶者からの暴力は、犯罪となる行為をも含む重大な人権侵害です。配偶者からの暴力は、あなたの身近なところでおきています。「配偶者暴力防止法」は平成13年に制定され、平成19年7月に保護命令の拡充や市町村の取組の強化を柱とした改正法が成立し、平成20年1月に施行されました。このDVDでは、配偶者からの暴力の根絶をめざして、「配偶者暴力防止法」のしくみ等についてわかりやすく紹介しています。
		56分/20分 一般 2015年		
190	人権全般	<b>DVD</b> シェアしてみたらわかったこと		上京して、期待を胸に入居したシェアハウス。そこに暮らしているのは、個性豊かな住人たち。この住人たちとの交流は戸惑いの連続だけど、時間、空間、思いをシェアして初めて気づくこともある。私が、シェアしてみたらわかったこと。 <b>【収録テーマ】</b> ・外国人に関する人権 ・性自認や性的指向に関する人権 ・外から見えにくい障害のある人の人権 ・災害時の人権
		46分 一般 2019年		

192	人権全般	<b>DVD</b> サラームット～あなたの言葉で～	この作品のテーマは、「SNS時代における外国人の人権」です。この作品の主人公・珠美は、新しく職場に来たフィリピン人のミランダに対し、様々な「違い」を「壁」だと捉え、面倒な存在だと感じてしまいます。しかし、自分とは異なる文化や考え方を持つミランダとの対立や交流を通して、珠美は新たな視点に気づかされ、「違い」は様々な問題解決の糸口になることも学んでいきます。珠美とミランダの姿を通して外国人は「受け入れてあげる存在」でも「労働力」でもなく、助け合うことができる対等な仲間であること、SNSを傷つけるための道具としてではなく、人の心と心をつないでいくために利用する様子を描きます。
		36分 一般 2019年	
193	人権全般	<b>DVD</b> 誰もがその人らしくーLGBTー	この作品は、主人公の周りにいたけれども見えなかったLGBT(性的少数者)の人たちが見えてくるストーリーです。LGBTの人たちに対する社会の偏見はまだまだ強く、存在していてもなかなか見えない、その存在を見だしにくいのが現状です。しかし、各種の統計からも明らかのように、LGBTの人たちは確かに存在し偏見や差別に苦しんでいます。
		20分 一般 2017年	
194	人権全般	<b>DVD</b> ハンセン病問題を知る ～元患者と家族の思い～	ハンセン病元患者と家族を取り巻くエピソードを通して、元患者の人間としての生き方を奪われた人生やその中で受けた苦しみ、視聴者の胸に迫る展開となっています。「ハンセン病療養所」に元患者を強制隔離する国の誤った政策が、人々の心にハンセン病は恐ろしい病気という偏見を植え付け、「らい予防法」が廃止された後も偏見や差別意識が根強く残り、元患者の多くは死後も差別を受けるとい歴史的事実から、「正しく知る」ことの重要性を学ぶことができます。部落差別に照らしながらの研修が可能です。
		35分 一般 2021年	
195	人権全般	<b>DVD</b> 私たち一人ひとりができること ～当事者意識をもって考えるコロナ差別～	新型コロナウイルス感染症の拡大により、未知のウイルスに対する恐れや不安から、感染した人だけでなくその家族や医療従事者等に偏見を抱き、知らず知らず差別してしまう人間の心理がドラマを通して描かれています。なぜ偏見や差別が生まれるのか、そしてどのように向き合っていけば良いのかを考えることができるドラマ形式の啓発DVDです。だれもが差別に加担してしまう可能性が巧みに表現されており、「コロナ差別」を切り口とし、差別意識の解消について、自分は何ができるのかについて、学ぶことができます。
		26分 一般 2021年	